

九州国際大学研究者情報

基本情報

所属	現代ビジネス 学部 国際社会学科	氏名	松下 紗耶 Matsushita Saya
職名	准教授	E-mail	s-matsushita@cb.kiu.ac.jp
		ホームページ	

■ 学歴・取得学位

2015(平成27)年3月	熊本大学文学部文学科卒業 学士(文学)
2017(平成29)年3月	九州大学人文科学府修士課程修了 修士(文学)
2021(令和3)年3月	九州大学大学院人文科学府博士後期課程 単位取得満期退学
2024(令和6)年3月	博士(文学)取得 (九州大学 文博甲第二八二号)

■ 主な職歴

2021(令和3)年4月	鹿児島女子短期大学教養学科 助教
2024(令和6)年4月	鹿児島女子短期大学教養学科 講師
2025(令和7)年4月	九州国際大学現代ビジネス学部 准教授

教育活動

■ 主な担当授業科目

○ 学部：アメリカ文学、外国文学、英米文学講読1、Reading、Writing
--

■ 教育上の特記事項

○ 教科書・教材：
○ 教育活動：
○ 免許・資格：高等学校教諭専修免許 外国語(英語)(平二九高専修第一一四号)

研究活動

■ 研究分野

研究分野	アメリカ文学
主な研究テーマ	ウィリアム・フォークナーを中心とした20世紀南部文学

キーワード	人種表象、白人研究、パフォーマンス研究
-------	---------------------

■ 主な著書・論文等

著書	○ 『都市と連帯—文学的ニューヨークの探究』（共著）、開文社出版、2023年(藤野功一編) (担当：pp. 59-92)
論文	○ “Passing Women’s Race and Sexuality: The Loss of Innocence and the Veil of Performance in Nella Larsen’s <i>Passing</i> ” 九州大学大学院, 英語学・英文学研究会, 『九大英文学』第59号, 2017年, pp. 137-50 ○ Armand and Désirée “Enact” Scenes: Performing Race and Gender in Kate Chopin’s “Désirée’s Baby” 九州大学大学院, 英語学・英文学研究会, 『九大英文学』第61号, 2019年, pp. 43-50 ○ 「“Negro! Negro! Negro!” に潜む白人不安—— <i>Light in August</i> における Joanna Burden 再考」九州アメリカ文学会 『九州アメリカ文学』第62号, 2021年, pp. 47-60 (査読あり) ○ 「南部という舞台——ウィリアム・フォークナー『墓地への侵入者』における白人パフォーマンス」多民族研究学会 『多民族研究』第17号, 2024年, pp. 45-61 (査読あり) ○ 「暴力とホワイイトネス——「乾燥の九月」における白人性」 『フォークナー』第26号, 2024年 pp. 100-110 (査読あり)
学会発表	○ 「演技する混血児— “Désirée’s Baby” におけるイノセンス喪失とパフォーマンス」日本英文学会九州支部第69回大会(中村学園大学), 2016年 ○ 「名前から読む <i>The Autobiography of Miss Jane Pittman</i> 」九州アメリカ文学会第63回大会(佐賀大学), 2017年 ○ 「 <i>Light in August</i> におけるイノセンスの喪失とパフォーマンス」九州アメリカ文学会9月例会(福岡大学), 2017年 ○ 「境界線を越える—イノセンスの喪失とパフォーマンスで読む <i>Light in August</i> 」日本アメリカ文学会第56回全国大会(鹿児島大学), 2017年 ○ 「ブラック・アウトの作用— <i>Go Down, Moses</i> における人種観再考」日本ウィリアム・フォークナー協会第21回全国大会(龍谷大学), 2018年 ○ 「サトペンの南部的再構成——『アブサロム、アブサロム!』におけるクエンティンの語りのパフォーマンス」日本英文学会九州支部第72回大会(熊本県立大学), 2019年 ○ 「黒人・女性・姉妹愛— <i>Plum Bun</i> における女性の連帯」九州アメリカ文学会第67回大会(オンライン開催), 2022年 ○ 「南部という舞台——ウィリアム・フォークナー『墓地への侵入者』における白人パフォーマンス」多民族研究学会第39回全国大会(日本女子大学), 2023年 ○ 「暴力とホワイイトネス—“Dry September” を中心に見る白人性の構築」日本ウィリアム・フォークナー協会第26回全国大会(京都大学), 2023年
その他	○ 【書評】 Jay Watson and James G. Thomas, Jr 編 <i>Faulkner’s Families: Faulkner and Yoknapatawpha, 2019</i> (UP of Mississippi, 2023) 日本ウィリアム・フォークナー協会 『フォークナー』第27号(三修社, 2025年)

■ 大学就任以前の主な業務上の実績

	特になし
--	------

■ 主な所属学会

日本英文学会、日本アメリカ文学会、日本ウィリアム・フォークナー学会、多

民族研究学会

■ 受賞等

2018(平成30)年11月	九州大学文学部同窓会優秀研究賞
2019(平成31)年3月	九州アメリカ文学賞 佳作

■ 研究助成金による研究

○ 九州大学博士後期課程奨学金(2017年)

社会における活動等

特になし

大学運営活動等

- 国際センター委員(2025年～)
- 基礎教育センター委員(2025年～)